

高機動無人航空機開発プロジェクト

高機ドローン

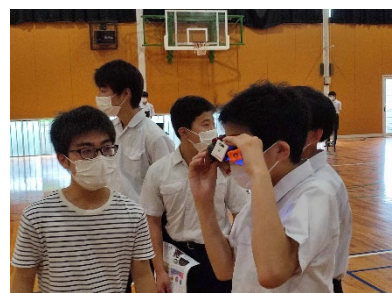
プロジェクトの背景と目的

近年、飛行型ドローンが手軽に制作や購入できるような環境が整ってきており、ドローン業界の規模自体もどんどん拡大しており技術也多岐にわたるようになってきています。ドローンには、大きく分けて産業用のドローンとレース用ドローンがあります。本プロジェクトでは、主に空撮ドローンとレース用のドローンの機体作製をしており、その活動の中でドローンレースの大会出場やドローンの飛行訓練を通して使用している技術及び、関係する法律について学習をすることを目的としています。

本年度の主な活動内容

1. 附属高校のオープンスクール(高大連携)

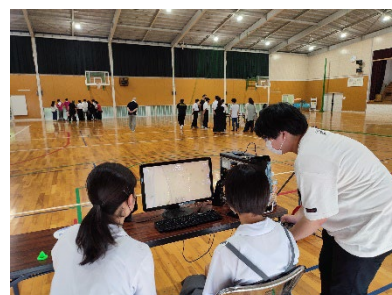
高大連携のオープンスクールにてトイドローンの操縦体験や Wii のジョイコンを使用した操縦体験、FPV (First Person View (ファースト・パーソン・ビュー) 一人称視点) シミュレーション操縦体験、実際に飛行しているレース用機体の映像 FPV を用いてドローンから見える景色を体験してもらいました。



オープンスクール FPV ゴーグル体験

2. 長崎工業高校への出張授業

長崎工業高校では、電気電子科の生徒にドローンの法律や技術について学んでもらい、ドローンの操縦がどのようなものなのか、実際に飛ばし体験してもらいました。



オープンスクール シミュレーション体験

3. 一般社団法人日本ドローンファイト協会 ドローンファイト公式のプレイスポット認定

一般社団法人日本ドローンファイト協会の申請が通り、長崎県唯一のドローンファイト公式のプレイスポットが本学に登録されました。ドローンファイトは、トイドローンを用いて、3分間以内に2人のうちどちらかが早く風船を割れるかを競う競技です。実際に造大祭で競技を実施し、子供から親御さん、大学生までの幅広い層に非常に好評でした。また、造大祭の1週間前に開催されたドローンファイト GP2022 で1年の川端が予選1位を獲得することができました。



長崎工業高校での技術支援

4. 空撮用ドローンでの空撮

空撮は、DJI が販売している MAVIC MINI を用いて空撮を行いました。また、前年度に引き続き YouTube や Twitter の投稿も行っています。

